

⑫ 公開特許公報(A) 平3-148211

⑥ Int. Cl.⁵

識別記号

庁内整理番号

⑬ 公開 平成3年(1991)6月25日

A 61 K 7/06

6737-4C

審査請求 有 請求項の数 3 (全3頁)

⑭ 発明の名称 毛髪用トリートメント剤と、その使用方法

⑮ 特 願 平1-286358

⑯ 出 願 平1(1989)11月2日

⑰ 発 明 者 井 上 富 夫 三重県四日市市中川原1丁目14番3号

⑱ 出 願 人 株式会社ジャパンハツ 三重県鈴鹿市算所3丁目16番12号
ビー

⑲ 代 理 人 弁理士 岡 賢 美

明 細 書

1. 発明の名称

毛髪用トリートメント剤と、その使用方法

2. 特許請求の範囲

(1) 「水溶性天然糖または血漿、あるいは代用血漿」のうちの少くとも一つ以上を主成分とすることを特徴とする毛髪用トリートメント剤。

(2) 「天然樹脂のセラック」または「蛋白質のケラチン」の少くとも一つを混合した特許請求の範囲第(1)項記載の毛髪用トリートメント剤。

(3) 特許請求の範囲第(1)(2)項記載の毛髪用トリートメント剤を塗布し、しかるのち、「該毛髪を「概ね40℃～50℃」×「概ね10分～20分」の条件で加熱処理」または「該毛髪をアルカリ剤によって膨潤処理」の二次処理を施すことを特徴とする毛髪用トリートメント剤の使用法。

3. 発明の詳細な説明

「産業上の利用分野」

本発明は、頭髪のシャンプー後等に、傷んだ頭髪の保護や、毛髪の性状修復のために使用する毛

髪用トリートメント剤と、そのトリートメント剤の使用法に関するものである。

「従来の技術」および「発明が解決しようとする課題」

シャンプー後の毛髪用トリートメント剤として「ポリペプチド(PPT)と油性分」を主成分とするものが、広く使用されている。

この従来の毛髪用トリートメント剤は、毛髪表面に油性の皮膜を形成してシャンプーで傷んだ毛髪を保護整髪する作用があるものの、紫外線や発汗による塩分、或はパーマメントウェーブ処理、またはシャンプーによって損傷している鱗片状の毛表皮や毛皮質を修復して毛髪機能を回復向上する作用がなく、その上、前記の油性皮膜も次のシャンプーで溶解消滅する難点がある。

本発明は、以上の従来技術の難点を解消する新規のトリートメント剤と、その使用方法を提供するのが目的である。

「課題を解決するための手段」

以上の技術課題を解決する本発明は

・「水溶性天然糖または血漿あるいは代用血漿」の少くとも一つ以上を主成分とする毛髪用トリートメント剤」と

・「上記の主成分のものに、「天然樹脂のセラック」または「蛋白質のケラチン」を添加した毛髪用トリートメント剤」と

・「以上の各毛髪用トリートメント剤を毛髪に塗布し、しかるのち、「塗布した毛髪を「概ね40℃～50℃」×「概ね10分～20分」の条件で加熱処理」または「アルカリ剤で膨潤処理」する二次処理を施す使用方法」によって構成されている。

詳しくは、本発明の毛髪用トリートメント剤は、ぶどう等・デキストラン・プルラン（澱粉を原料とする天然多糖類の商品名）等の水溶性天然糖、または血漿、或は公知の「ポリビニールピロリドン・ポリビニールアルコール」や「デキストラン」等の代用血漿のうちの、任意の一つ、または複数のものを主成分として選択し、溶媒の精製水に溶解させたもので、それ等主成分の物質が概ね10～50%（重量%）の割合で溶解混合されている。

よって、対象毛髪を前記の条件に加熱保持したり、或はアルカリ剤によって毛髪を潤膨させて施される。

「作用」

以上の本発明の毛髪用トリートメント剤は、「水溶性天然糖または血漿或は代用血漿」の少くとも一つが主成分をなしており、そのうちの水溶性天然糖は固結力・造膜性・粘着性・艶出し性等に優れると共に、接着力と保水性等に富む物性を有し、また、血漿は動物性蛋白であり、アルブミン、グロブミンの血液蛋白と、フィブリノーゲンとを有して、優れた結着性能があり、人間生体に極めて適応する物性を有するので、これらの供給を受けた毛髪は、紫外線やシャンプーまたはパーマメントウェーブ処理によって、剥離したり損傷している鱗片状の毛表皮や、その毛表皮の下にあって同じく損傷している毛皮質が修復される。

即ち、前記の主成分による造膜・結着・固着・粘着の諸特性に基づいて、流出欠落している毛皮質の間充物質が補充されて、概ね健康毛の毛皮質

なお、前記の水溶性天然糖は、前記例示の外、天然系多糖類のカラギーナン・アルギン酸（海藻系）、ペクチン（果皮果肉系）、グァーガム（種子系）、キチン（海老等の動物系）、キサントガム（微生物系）等のものが含まれる。

一方、セラックまたはケラチンを添加する前記の毛髪用トリートメント剤は、前記の「水溶性天然糖または血漿、或は代用血漿」の主成分による毛髪機能の回復作用を増幅向上させる意図で添加するもので、任意量のセラックまたはケラチンを予めアルコールに溶解させ、その溶解液を、界面活性剤と共に、前記の「水溶性天然糖または血漿、或は代用血漿」の溶解液に加えたエマルジョンになっている。なお、前記のセラックとは、ラックカイガラ虫が分泌する樹脂状物質を精製した、公知の天然樹脂のセラックを意味する。

また、前記の使用方法は、前記の各毛髪用トリートメント剤の作用促進の一手段として、毛髪を体温以上の適温の加熱状態に若干時間保持するもので、赤外線加熱または蒸気、或は温風加熱等に

の形状構造に修復されると共に、欠落したり損傷している鱗片状の毛表皮が修復されて、概ね健康毛の毛表皮に回復し、損傷によって低下している毛表皮と毛皮質の機能を向上回復する作用がある。

さらに、セラックまたはケラチンを添加した毛髪用トリートメント剤は、セラックが有する多量の天然樹脂分とワックス分による皮膜形成特性と、ケラチンが有する動物体の保護特性に基づいて、前記の水溶性天然糖と血漿（または代用血漿）による前記の諸作用が一段と増幅促進される。

そして、以上の諸作用を享受した毛髪は、毛表皮と毛皮質が修復されると共に、修復した毛表皮にシャンプーによって容易に剥離消滅しない保護皮膜が生成され、その修復状態を長期に安定維持することができる。特に、前記のセラックを用いた毛髪用トリートメント剤は、セラックが多量に有する天然樹脂分（概ね95%以上含有）とワックス分（概ね1.5～2.5%）が皮膜を形成するので、皮膜自体の艶と安定性が極めて良く、例えば40～50回のシャンプー後にも該皮膜が消

減せず、光沢と健康毛状態を維持することができる。また、前記のケラチンを用いた毛髪用トリートメント剤は、ケラチン自体が難水溶性であり、機能回復した毛髪は水洗やシャンプー耐性に優れ、同じく修復毛の安定性が極めて良い。

一方、前記の使用方法によると、加熱処理やアルカリ剤処理によって毛髪が膨潤するので、塗布されたトリートメント剤の毛表皮と毛皮質への滲透供給が活性化し、前記の作用が一段と顕著になる。

「実施例」

以下、実施例を例示して説明する。即ち、水溶性天然糖10%(重量%)溶解した精製水溶液に、該精製水溶液の3%(重量%)に当る量の「アルカリ溶解したセラック」を混入してエマルジョンにした毛髪用トリートメント剤を生成し、シャンプー後に常温塗布して使用した。その使用後の毛髪は、使用前の毛髪に比べて色・艶・櫛通し性・毛径等の性状が回復して、概ね健康毛と同一レベルの状態を示し、良好な処理作用が存在した。そ

して、その後毎日、通常のシャンプーを行い毛髪機能の維持状況を確認したところ、使用日から45日後に至るまで、トリートメント剤の再使用の必要ない程度の毛髪性状が継続し、極めて良好な安定性が存在した。

「発明の効果」

以上の説明のとおり、本発明の毛髪用トリートメント剤は、損傷毛髪の機能を向上回復する優れた毛髪処理性能と、その向上回復した毛髪機能が、極めて長期間温存継続する格段の持続安定性を有し、広く一般の日常生活の便宜を向上する顕著な効果がある。

特許出願人
代理人 弁理士

株式会社ジャパンハッピー
岡 賢 美